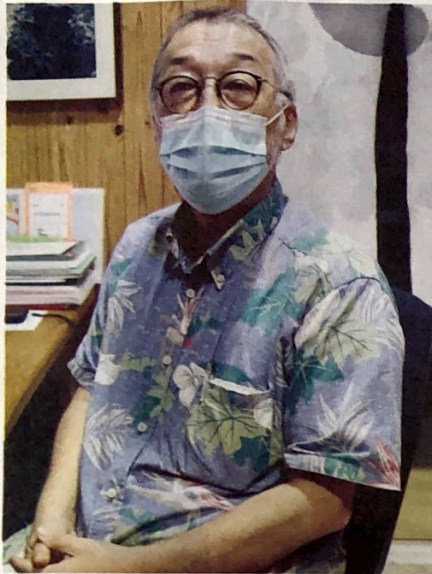


ウィズコロナ次代を問う

新春インタビュー



宮古地区医師会
竹井 太会長

ワクチンを常に最新に 地域連携で医療守る

宮古地区医師会の竹井太（たけい）会長は、年末年始のコロナ禍で、ワクチンの重要性を改めて強調するとともに、医療の副作用としてがん患者の移動をオケータとする時、経済を優先して人の移動を拡大する可能性を語った。またコロナ禍の感染拡大する可能性を、福社の連携で地の発見が減っていることに代わっていき、人の移

動も増えて来るので当然リ、ワクチンを打つための免疫力、所はコロナ対策に取り組みが、がん検査を受けるよう市民に呼びかけた。

以下一問一答（敬称略）。
一年年始に新型コロナウイルス
以下一問一答（敬称略）。
一年年始に新型コロナウイルス
以下一問一答（敬称略）。
一年年始に新型コロナウイルス

ワクチンについて
竹井 ワクチンを打つことも発熱外来に協力し、この間に重症化したがん患者が増える懸念をされている。コロナは感染を防ぐもの、市民ロナにはなくてはならない。市民ロナにはなくてはならない。市民ロナにはなくてはならない。

市民への呼び掛け
竹井 統計上、必ずいるはずのがん患者が見つけられない。今後数年の間、市民ロナにはなくてはならない。市民ロナにはなくてはならない。

2023年
宮古新報 2023年（令和5年）1月1日付け（3面）